

5

自転車運転者の義務と責任 (交通事故による被害者や加害者の声)

指導のねらい

自転車に乗る際に必要となる運転者の義務と責任を理解させる。

自転車による様々な交通事故の状況等を通して、事故を起こした時の法律的な責任と運転者としての義務があることを理解させる。また、交通事故によって当事者の家族等が受ける影響の重大さを理解させる。

● **活動例** 学級活動（道徳、保健・体育の時間）

● 指導計画のポイント

年度当初に指導し、運転者としての義務と責任を自覚させる。





● 事前準備

「ひやり・はっと体験」のワークシート【p.9~11】を配付して記入させておくと、当事者意識が高まる。

● 連携関係機関

警察署、市役所から自転車の事故事例、事故を起こしたときの行動、法的責任や賠償責任、TSマーク等の概要等の資料や情報の提供を受ける。消防署から応急手当の資料や情報の提供を受ける。

● **指導の流れ**【具体的指導内容】（学級活動での使用例）

指導の流れ	留意点／ポイント
教師 ① 運転者の義務と責任について 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の事故事例等を交えて説明する。 事故を起こしたときの責任と補償を説明する。 事故を起こしたときに何をするか（義務）。 事故に備えた保険制度（TSマーク等）があることについて理解させる。
生徒 ② 交通事故によって当事者の家族等が受ける影響 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故に関する作文（※）の朗読又は黙読を通して、交通事故によって加害者・被害者が受ける様々な気持ちを考えさせる。
生徒 ③ 感想文 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故の恐ろしさや、被害者・加害者の心情を想像させる。 命の大切さを理解させる。 事故にあわない、事故を起こさない安全な行動を自覚させる。
教師 ④ まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 事故には運転者としての義務と責任が伴い、自転車事故でも損害賠償請求がなされる。 交通事故を起こさない安全な自転車利用の重要性を認識させる。 命の大切さを理解させる。

（※）交通事故に関する作文は、内閣府のホームページ

（<http://www8.cao.go.jp/koutu/keihatsu/index-ke.html>）の「交通安全ファミリー作文コンクール」にあります。各年度の交通安全ファミリー作文コンクール優秀作品集を一読いただき、対象年齢に合ったものを参照してください。なお、当ホームページに掲載している作品集については、個人情報が含まれているため、授業カリキュラム等の学習用としてのみ使用いただきますようお願いいたします。